

書 名：ラクラクわかる！ 特類消防設備士 集中ゼミ
発 行：2025 年 7 月 7 日 第 1 版第 1 刷発行
ISBN：978-4-274-23380-7

以下のとおり訂正して、お詫び申し上げます。

発生 刷数	頁数 位置	正誤内容	
		誤	正
1 刷	P.10 [1] 「防火管理」 の見出し後 上から 1 行目	管理権限者	管理権原者
1 刷	P.21 図 1	50 m	50 m ²
1 刷	P.31 問 1 (4)	配水管	排水管
1 刷	P.56 表 4 第 5 類の 甲種消防設備 士 乙種消防設備 士	非常警報器具、非常警報設備、排煙設備、非常コ ンセント設備、無線通信補助設備	金属製避難はしご、救助袋、緩降機
		共同住宅用自動火災報知設備、住戸用自動報知設 備、特定小規模施設用自動火災報知設備、複合型 居住施設用自動火災報知設備、共同住宅用非常警 報設	金属製避難はしご、救助袋及び緩降機以外の避難 器具
1 刷	P.59 表「7」 動植物油類	6,000L	10,000L
1 刷	P.82 表 1 水バケツ又は 水槽	危険物第 5 類 (無印)	危険物第 5 類 ○
		危険物第 6 類 (無印)	危険物第 6 類 ○
		可燃性固体類又は合成樹脂類 (無印)	可燃性固体類又は合成樹脂類 ○
		その他の指定可燃物 (無印)	その他の指定可燃物 ○
1 刷	P.89 表 1 行目 誘導灯 の下の区分	避難靴誘導灯	避難口誘導灯
1 刷	P.90 表 客席誘導灯 の右	0.1 lx	0.2 lx

1 刷	P.93 問 3 (2)	避難口野市又は避難口にいたる方向を明示する者	避難口の位置又は避難口にいたる方向を明示するもの
1 刷	P.94 [1]設置対象 ア	①耐火建築物 : 床面積 15,000 m ² 以上を超える場合 ②準耐火建築物 : 床面積 10,000 m ² 以上を超える場合 ③その他の建築物 : 床面積 5,000 m ² 以上を超える場合	①耐火建築物 : 床面積 15,000 m ² 以上の場合 ②準耐火建築物 : 床面積 10,000 m ² 以上の場合 ③その他の建築物 : 床面積 5,000 m ² 以上の場合
1 刷	P.100 表 1 主管の内径	防水用器具	放水用器具
1 刷	P.101 問 1 の解答	(3)	(4)
1 刷	P.105 問 2 の解説	～すれば、警察の無線通信その他の用途と共用することができます。	～すれば、警察の無線通信その他の用途と共用することができます。
1 刷	P.121 問 3 の解説	住戸用自動火災報知設備は、二方向避難・開放型特定共同住宅等の場合、地階を除く階数が 10 以下のものに設置が可能とされています。	住戸用自動火災報知設備及び共同住宅用非常警報設備は、二方向避難・開放型特定共同住宅等の場合、地階を除く階数が 10 以下のものに設置が可能とされています。
1 刷	P.124 問 1 問題文	～設置することができる防火に関する～	～設置することができる防火対象物に関する～
1 刷	P.124 問 1 (2)	(3) 令別表第 1 (15) 項～	(3) 令別表第 1 (3) 項～
1 刷	P.142 下から 6 行目	ペーパーリッチ	ペーパーリッチ
1 刷	P.152 先生の 吹き出し	燃焼性生物	燃焼生成物
1 刷	P.168 先生の 吹き出し	表明は完全	表面は完全
1 刷	P.177 問 2 (3)	1 m 後退した線で囲まれた	1 m 後退した線) で囲まれた
1 刷	P.178 下から 1 行目	準不燃不燃材等	準不燃材等

1 刷	P.191 最後に追加		(1) では、③の内容が含まれていませんが、(2) では③の特定防火設備となるための条件が付加されています。したがって、(1) が不適切です。
1 刷	P.206 表 1 ④排煙機	(1) 位置の排煙口の	(1) 1 の排煙口の
1 刷	P.236 表 2 2 号消火栓の ホースの長さ	25A×0 m	25A×20 m
1 刷	P.241 「5」自動警報 装置の説明文 2 行目文末	響警報	音響警報
1 刷	P.247 問 2 (3)	低発砲	低発泡
1 刷	P.257 表 2 熱アナロ グ式スポット 感知器 種別	定温特殊	定温特種
1 刷	P.264 吹き出しの下 4 行目	避難用クラップ	避難用タラップ
1 刷	P.267 ウ	警報警報音	警報音
1 刷	P.268 表 5 ①	発振器	発信機
1 刷	P.275 問 1 の解答	(4)	(3)
1 刷	P.276 ア 吹出し	消火薬剤	消火薬剤
1 刷	P.283 問 1 解説	3,000 m ²	300 m ²
1 刷	P.284 上から 1 行目	及び	及び

1 刷	P.311 問 22	バックドラフト、フラッシュオーバーに関する	バックドラフトに関する
1 刷	P.320 問 4 の解答	(4)	(2)
1 刷	P.342 問 5 の解説	～届け出なければなりません。	～届け出なければなりません。
1 刷	P.342 問 7 の解答	(3)	(4)
1 刷	P.345 問 26 の解説	、その他の部分と防火区画する必要があります。	当該部分とその他の部分とを準耐火構造とした壁、又は法第 2 条第 9 号の 2、ロに規定する防火設備で区画する必要があります。
1 刷	P.347 問 41 の表	39℃未満 39℃以上 64℃未満 39℃未満 79℃以上 121℃未満	39℃未満 79℃未満 39℃以上 64℃未満 79℃以上 121℃未満